

先端技術研究 学科				1年課程				1		年
科 目 名								学期	前	期
担当教員		科目区分		授業方法		履修分類		単位数		
学習目的										
授業内容										
学習目標										
使用テキスト										
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1						【事前】				
						【事後】				
2						【事前】				
						【事後】				
3						【事前】				
						【事後】				
4						【事前】				
						【事後】				
5						【事前】				
						【事後】				
6						【事前】				
						【事後】				
7						【事前】				
						【事後】				
8						【事前】				
						【事後】				
9						【事前】				
						【事後】				
10						【事前】				
						【事後】				
11						【事前】				
						【事後】				
12						【事前】				
						【事後】				
13						【事前】				
						【事後】				
14						【事前】				
						【事後】				
15						【事前】				
						【事後】				
	評価項目/割合			評 価 内 容						
評 価 基 準	1. 課 題	20 %								
	2. 授業姿勢	30 %								
	3. テストその他	50 %								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他										

				学科	**コースを選択してください(DELで消去)**						年
科 目 名									学期	前	期
担当教員		科目区分		授業方法		分類		単位数			
学習目的											
授業内容											
学習目標											
使用テキスト											
週数	授業計画										
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
		評価項目/割合		評 価 内 容							
評 価 基 準	1. 課 題		%								
	2. 授業姿勢		30 %								
	3. テストその他		70 %								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他											

科目名	実習研究ⅠB							学期	後期
担当教員	ファティン アミラ	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	6
学習目的	自身の研究テーマについて深く学び、専門的な知識を身につけるとともに、論理的思考力や問題解決能力を養う。								
授業内容	学生自身が興味のある研究テーマを設定し、関連する資料を調査・分析する。研究の成果を論理的に整理し、報告書としてまとめることで、情報収集能力・文章表現能力を向上させる。								
学習目標	研究テーマに関する深い知識を習得できる。自ら課題を発見し、論理的に整理・考察できる。研究成果を適切に文章で表現し、報告書としてまとめること								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	研究テーマの決定：興味のある技術テーマを選定し、研究計画を立案								
2	技術調査：関連する論文や資料を調査し、テーマの背景を理解する								
3	環境構築・実験準備：開発環境のセットアップ、使用技術の選定								
4	実装・試作①：基礎的な部分の実装を行い、動作確認								
5	実装・試作②：追加機能や改善点の検討								
6	性能評価・テスト①：測定基準を設定し、データ収集を開始								
7	性能評価・テスト②：テスト結果の整理と分析								
8	中間発表（報告書ドラフト提出）：研究の進捗を共有し、フィードバックを受ける								
9	実装の改善・追加検証①：フィードバックを反映し、技術的な課題を改善								
10	実装の改善・追加検証②：さらなる最適化や拡張を検討								
11	結果の整理・考察：研究成果を論理的にまとめる								
12	報告書の作成①：論文形式で研究成果を文章化								
13	報告書の作成②：全体の流れを整え、誤字脱字を修正								
14	最終チェック：研究の結論を明確にし、報告書を完成させる								
15	研究成果報告（最終提出）：最終版の提出と希望者による発表								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題 40 %			作業日の進捗報告書の提出					
	2. 授業姿勢 30 %			報告・連絡・相談の姿勢					
	3. テストその他 30 %			最終研究成果報告書提出					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	研究成果報告書の提出が期末テストの代わりになります。								

科目名	作品制作ⅠB							学期	前期
担当教員	ファティン アミラ	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	4
学習目的	自身で決めた研究テーマを活かし、就職活動でアピールできるクオリティの作品を制作する。問題解決力や自主的な学習姿勢を養い、実践的なスキルを身につける。								
授業内容	研究テーマに沿った作品を制作し、自主学習を基本としながら開発を進める。問題が発生した際はまず自分で調査・試行し、それでも解決できない場合は								
学習目標	就職活動でアピールできるレベルの作品を完成させる。問題解決能力を高め、自ら調査しながら開発を進める習慣を身につける。作品のクオリティ向上								
使用テキスト	無し								
週数	授業計画								
1	企画立案:テーマ選定・制作方針決定								
2	仕様設計:システム構成、ワークフロー作成								
3	基盤開発①:コアシステム実装開始								
4	基盤開発②:機能追加・基本動作確認								
5	問題解決と調整:発生した課題の洗い出し・解決策検討								
6	中間発表準備:進捗報告資料の作成								
7	中間発表・フィードバック:成果共有と改善点の確認								
8	追加機能開発①:フィードバックを反映し、拡張実装								
9	追加機能開発②:ゲームプレイ・UXの調整								
10	作品のブラッシュアップ①:バグ修正・最適化								
11	作品のブラッシュアップ②:ビジュアル・サウンドの調整								
12	最終調整①:動作確認・デバッグ								
13	最終調整②:プレゼン資料・ポートフォリオ準備								
14	最終発表リハーサル:プレゼン練習・作品最終チェック								
15	最終発表:完成作品のプレゼン・成果報告								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 20 %			発表の出来					
	2. 授業姿勢 30 %			報告・連絡・相談					
	3. テストその他 50 %			作品のクオリティ					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科 目 名	インターンシップⅠB							学期	後 期
担当教員	ファティン アミラ	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	10
学習目的	企業での体験実習を通して実践的な技術や就業に必要なコミュニケーションを身につける。								
授業内容	就職希望業界の企業で450時間以上の就業体験を行い、レポート提出と発表を行う。								
学習目標	就業体験を通して、業界理解を深め就職活動に役立てる。また実習を通して自主性・主体性・ビジネスマナーを習得する。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	業界研究								
2	インターンシップ先の選定								
3	インターンシップの時期決定および申し込み・実習願いの提出								
4	自己紹介表・エントリーシートの作成・添削指導								
5	インターンシップ先の事前学習								
6	インターンシップ(450時間以上)								
7	インターンシップ(450時間以上)								
8	インターンシップ(450時間以上)								
9	インターンシップ(450時間以上)								
10	インターンシップ(450時間以上)								
11	インターンシップ(450時間以上)								
12	インターンシップ(450時間以上)								
13	インターンシップ(450時間以上)								
14	事後レポートの提出								
15	インターンシップ報告会								
評価基準	評価項目/割合		評 価 内 容						
	1. 課 題 40 %		インターンシップに参加する 事後レポート・発表						
	2. 授業姿勢 30 %		無欠席での参加 身だしなみ・挨拶等実習先評価						
	3. テストその他 30 %		実習先評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

